いしかわ労福協

第 605 号　2018年6月25日

発　行　所　　石川県労働者福祉協議会
発行責任者　　西田　満明
編　集　人　　上野　貞彦
〒920-0024　　金沢市西念3丁目3番5号
電話（076）231-1737
FAX（076）231-1731
http://www.ishikawa-rofukukyo.jp
info@ishikawa-rofukukyo.jp
毎月1回 25日発行

第57回通常総会

労働組合と福祉事業団体の連携強化へ！

西田理事長

田村県労働企画課長補佐

麦田国民民主党石川政調会長

石川労福協は、第 57 回通常総会を 6 月 8 日（金）フレンドパーク石川ホールにおいて開催した。

光林邦彦副理事長が、「暮らしの総合サポートセンターとして、労働者・生活者・高齢者などに対し共助の輪を広める活動を連合石川をはじめとした各団体のご理解とご協力により行うことができたことに感謝する。」と開会挨拶をした後、代議員全員の出席で総会が成立していることを宣言して議長に半田宏志代議員を選出した。

半田議長は議長就任挨拶の後、議事を進め、西田満明理事長が「労働者がおかれている状況は、依然として厳しい状況に変わりないが、今春闘は、賃金引上げには一定評価が得られるものとなったものの、中小企業と大手との格差は依然として縮まらない。このことは、子どもの貧困にも繋がり、進学には奨学金を利用しなければならない状況を生み、社会人となってからの奨学金返済の現実を目のあたりにして、ことの重要さを知らされている。これにより、結婚、子育てに支障を来し、少子化に拍車をかける状況にもつながっている。労福協は、奨学金問題や子どもの貧困について国に働きかけるほか、具体的に子育ての支援にも取り組んでいる。また、格差・貧困に加え食品ロスの解消に関係して、社会福祉協議会とも協力して、フードドライブを第 89 回統一メーデーにおいて取り組み、320 kg余の善意の食糧が集められた。これらは、支援が必要な子ども食堂や福祉施設などに配布することができた。このように今、労福協が進める共助の活動が重要となっており、安心して暮らしが送れる社会、生き生きとした活動を作り出すため、今後ともご理解とご協力を願う。」と主催者を代表して挨拶した。

東田金沢市労働政策課長

森社民党石川県連副代表

続いて、石川県知事の祝辞を石川県商工労働部労働企画課の田村博課長補佐が、金沢市長の祝辞を金沢市経済局労働政策課の東田真澄課長がそれぞれ代読した。さらに、麦田徹氏が国民民主党石川県総支部連合会を森一敏氏が社会民主党石川県連合をそれぞれ代表して挨拶した。

議案審議に入り、2017 年度一般経過報告、会計報告、監査報告がそれぞれ報告・提案し承認されたのに続き、会員団体年会費、役員報酬額を承認した。

また、選出団体の異動により、任期途中に辞

任した役員の補欠選任が行われ、立候補した５名全員が選任された。

柚木光副理事長が「ただいま全ての議題が承認されたことで、2018年度における勤労者をはじめとする生活者の相互扶助の活動を推し進めることができます。今後とも、関係各位のご支援ご協力を切にお願いします。」と挨拶し総会を締めくくった。

退任された横山理事

役員補欠選任により、新たに役員となられた方は、いずれも理事（非常勤）で、長谷川隆史、瀧利光、渡邊雅人、加藤卓治、川中淳也の５名。

第２回理事会

石川労福協は、第２回理事会を６月８日（金）開催の第57回通常総会の後、引き続いて同会場において開催した。

西田満明理事長が、出席役員を確認したのち、早速、中川博専務理事に議題の報告・提案を促した。

報告事項をはじめ当面する諸会議等への参加などについて、それぞれ、中川専務理事が説明提案し、いずれも満場一致で提案どおり承認された。

海外支援米田植え

食とみどり、水を守るいしかわネットワークは、５月26日（土）金沢市牧山町の水田において飢餓に苦しむアジア・アフリカへの支援米の田植えを行った。

田植えには、親子連れ等約50名が参加し、西田満明代表が「海外で食べ物に困っている子ども達に少しでも役立てて欲しいとお米を贈る取り組みです。稲作を通じて、食べ物がある有難さなどを感じ、食べ物を無駄にできないことを学んでいただきたい。」と子ども達に分りやすく開会挨拶したのに続き、稲作の管理を行う山本英一氏からの指導を受けて、ひと植えひと植え丁寧に苗を植え、約530㎡の水田に苗が整列した。

田植えの後は、スタッフが準備した焼ソバ、豚汁、フランクフルトソーセージで空腹を満たしたほか、ポップコーンやかき氷を口にして、里山の清涼なる青空のもとでのひと時を過ごした。

また、参加した子どもらは、支援米を贈るときに添えるメッセージやイラストの書き込みも行い、実りの秋への準備を進めた。

この海外支援米の取り組みは、能登町、七尾市、小松市でも実施しており、これらの地区でも収穫した米を集めて、11月頃に発送する予定。

これからの行事予定

（6月25日現在）

開催日	曜日	行　事	会　場
6月25日	月	国際労働財団 タイ＆ラオス来県	フレンドパーク石川
7月 4日	水	メーデー協賛 第２９回ふれあいチャリティーゴルフ大会	ツインフィールズ
5日	木	中央労福協 ２０１８年度事業団体・地方労福協合同会議（～６日）	東京都
〃	〃	小松・能美地域ＬＳＣ 総会	ホテルサンルート小松
11日	水	労福協 第２回三役会議	フレンドパーク石川
〃	〃	シェイクアウトいしかわ	〃
12日	木	全国会館協 ２０１７年度第３回幹事会（～１３日）	ワークピア横浜
13日	金	輪島・穴水地域 LSC 総会	輪島市労働会館
17日	火	中央労福協 地方労福協事務担当者研修会（～１８日）	福岡市
18日	水	労福協 第３回理事会	フレンドパーク石川
24日	火	第 16 回福祉グラウンド・ゴルフ中央大会実行委員会	〃
25日	水	労働保険・社会保険福祉センター理事会・総会	労済会館
28日	土	食とみどり水 NW 海洋資源学習会	羽咋市
31日	火	全労済石川推進本部 第１回組合員代表者会議 石川勤労者共済生協 通常総代会	労済会館

中央労福協全国研究集会

中央労福協は、６月４日(月)、５日(火)の両日、岡山市の「ホテルグランヴィア岡山」にて「貧困や社会的孤立に陥らない地域を作ろう」をメインテーマに、「2018年度全国研究集会」が開催され、本県からの６人を含む全国から約330人が参加した。

主催者を代表し、神津里季生中央労福協会長が、「我が国は世界と同様に一部に富と権力が集中し、格差・貧困の拡大により、社会が分断されつつある。貧困の連鎖は止まらず、むしろ固定化している。近年のフードバンクや子ども食堂の広がりが格差・貧困の拡大を表していると言える。本研究集会は、『貧困や社会的孤立に陥らない地域を作ろう』をテーマにし、各地域で活躍する支え合い・助け合いの成果を全体で共有しつつ、政策提言や福祉強化キャンペーンにつなげていただきたい。」と挨拶された。

続いて、来賓の伊原木隆太岡山県知事、金澤稔岡山県労福協会長から歓迎の挨拶があった。

１日目の講演Ⅰでは、厚労省社会・援護局生活困窮者自立支援室室長の本後健氏より、「生活困窮者自立支援制度の意義と制度見直し、地域共生社会の実現に向けて」と題し、法整備後3年が経過し、現状における生活困窮者への支援の状況、また改善へ向けた課題の整理等について提言された。更に任意事業実施に関して、各自治体毎に支援事業の実施に差異が発生している点などの指摘がされ、今後、生活困窮者に対する包括的な支援体制の確立・強化が求められると話された。

講演Ⅱでは、NPOスチューデント・サポート・フェイス代表理事の谷口仁史氏から「若者支援活動の”これまで”と“これから”」と題して講演がされた。谷口氏の活動内容としては、佐賀県佐賀市を中心として「子ども・若者育成支援推進法」に基づき支援活動を実施している。特に「アウトリーチ(訪問支援)」と呼ばれる方法により支援ネットワークを活用し、活動を始めて相談件数約８万件、面談数約５万人の実績と、社会的自立に至るまでの総合的な相談支援事業を展開していることが報告された。

２日目は、サブテーマである「支えあい・助け合いのネットワークを広げよう」の内容に基づき、「奨学金ネットワーク」・「子どもの貧困対策」等それぞれ各県の取り組み事業について報告され、意見交換の「パネルディスカッション」を実施し、２日間の研究集会を終えた。

専務理事　中川　博

LSC総会

県内７地域のライフ・サポートセンターの総会が開催され、新年度に向けて取り組みがスタートした。

地域LSC名	総会開催日	会　長	事務局長
河北	5月19日(土)	宮下　亮	森山　博明
白山・野々市	5月22日(火)	柚木　茂二	山本　徹
加賀	6月 1日(金)	山本　和志	御舘　啓太
七尾・鹿島	6月 1日(金)	角三　外弘	谷内　英明
金沢	6月 8日(金)	綿　征一	松浦　政雄
羽咋	6月14日(木)	端山　祐司	上田　清春
珠洲・能登	6月22日(金)	谷　良治	加藤　政道

※ 小松・能美地域は７月５日(木)、輪島・穴水地域は７月13日(金)開催予定。

勤体協

第52回県勤労者春季体育大会

≪剣道大会≫

5月27日・金沢市県立武道館

◇団体
①警察学校Ａ②金沢刑務所Ａ③金沢刑務所Ｂ・北陸綜警

◇個人
＜男子＞
①割込誠大(金沢刑務所Ａ)　②藤井力也(警察学校Ａ)
③室谷悠太(警察学校Ａ)・佐藤博之(新化館)
＜女子＞
①桶井静香(警察学校Ｃ)②中田菜月(警察学校Ｃ)
③多喜彩香(警察学校Ｃ)

≪第89回メーデー協賛　パークゴルフ大会≫

5月27日・小松市木場潟公園

＜個人＞
◇男子ゴールド
①清水雅之(小松)②吉田 満(小松)③田中共栄(白山)
◇女子ゴールド
①西本すゑ子(小松)②犬丸芙美子(小松)③福田悦子(小松)
◇男子シルバー
①林 勝利(小松)②山田義明(能美)③高田峰夫(能美)
◇女子シルバー
①長木百合子(白山)②湯原悦子(金沢)③軽海由美子(小松)

メーデー協賛「第 50 回写真サロン展」が開幕

勤文協（石川県勤労者文化協会）による第89 回石川県統一メーデー協賛「第 50 回勤労者写真サロン展」が、6 月 14 日（木）加賀展（加賀市美術館）を皮切りに始まった。

金沢展の最終日となる 24 日（日）には表彰式・合評も行われ、会場は多くの出品者や来訪者で賑わい、この先の白山、小松、輪島、七尾での移動展に弾みをつけた。

勤労者文化協会長賞
「落陽」
前河原　秀夫（中能登町）

５０回記念特別賞
「真剣な眼差し」
泉谷　桂子（かほく市）

金沢市長賞
「光響」
舟野　喜代子（金沢市）

七尾市長賞
「ア・ヤットサー」
本丹　孝一（七尾市）

メーデー賞
「働く者の祭典」
宅本　門示（金沢市）

小松市長賞
「背くらべ」
長谷川　和子（金沢市）

輪島市長賞
「漆黒の波閃」
阿蘇　洋（津幡町）

北國新聞社長賞
「春の夜」
網代　吉孝（高岡市）

加賀市長賞
「冬の陽光」
山本　辰子（金沢市）

白山市長賞
「古寺の春」
中川　友子（金沢市）

能美市長賞
「語らい」
林　与一（金沢市）

※この機関紙は再生紙を使用しています。